

彼方「かなた」

校長通信
H25.6.25
Vol.9

「生徒総会で学校改善を！」



今年度は、五月に三年生の修学旅行が行われたり、六月初めに林間学校が行われたりと、学校行事の関係で例年より遅い生徒総会開催となりました。

アラニ生徒会長から「今までとは違う生徒総会」という思いが語られました。今年度の予算や活動計画が書かれた議案書を各学級で事前に読み合わせるか？という課題を生徒会総務から各学級に投げかけたのです。とてもシンプルな問いかけですが、生徒総会が持つ意味を全校生徒に理解させてくれるものでした。

この問いかけに全学級が真面目に話し合い、沢山の意見が出されました。



遣いをこころがける。」

- ・「あいさつ運動を実施する。」
- ・「生活委員会や学習委員会を中心となって、授業態度や持ち物の呼びかけをする。」
- ・「時間を意識させるために、チャイム着席の取り組みをする。」
- ・「目上の人に対する言葉

- ・「駅周辺の清掃ボランティア活動を行う。」
- ・「みんなのために自分ができることを頑張る。」
- ・「落ち着いた学校生活をつくるために、校内の色々な場所に花を咲かせる運動を行う。」
- ・「無言清掃活動を実施する。」
- ・「歌声活動をとにかく頑張る。」
- ・「校訓や学校目標をもっと意識する。」
- ・「委員会を中心に時間、あいさつ、言葉遣いについて取り組む。」

・「町に出て、色々な活動を考えて、行う。」

さまざまな意見が出されました。発表できなかった学級もありましたが、全校で湖北中学校をより良くしていこうとする気持ちが伝わってきました。



しかし、勝負はこれからです。意見だけ出し合っても、具体的に形にしてもなければ意味がありません。どう行事を作るか。何を委員会の活動として取り組むのか。いつまでに何をやるのか。取り組む期間はどれぐらいか。考えることが沢山出てきました。全

校生徒を巻き込んで、みんなを取り組むことで自分たちの良さが見え、仲間同士の絆が太く、深くなるのだと思います。そう言う意味でも生徒会総務は大変有意義な提案をしてくれました。これからより具体的な活動原案が立てられ、拡大中央委員会等で話し合わせ、決定していくわけですが、自分達で決めたことを自分たちで行動し、実現させていくという民主主義の大切な部分を学ぶこととなります！本当に楽しみです！頑張れ三年生！

